

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 幸せの枝

## 目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 10 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	利用者の心身機能の低下による介助が、複雑になり、職員の仕事量が増加する中で、サービスの質を維持しながら利用者の重度化に向けた取り組みを実施していく。	ターミナルケアの指針を作り、ホームで出来ること、出来ないことを明示し、利用者や家族に理解してもらい、出来るだけ長く、ホームで暮らし続けるための支援体制の確立を目指す。	12ヶ月
2		職員の介護力の向上と、意識の高揚を目指す	決められた職員で、利用者に対して、今以上の介護サービスを提供するためには、職員の介護レベルを引き上げ、効率の良い仕事を、全職員が可能になるようにしていく。	職員間で、利用者の介助方法と、対処について、日常的に話し合い、チームワークと、思いやりを持って、利用者一人ひとりが満足できる介護を目指していく。また、外部研修を職員が交代で受講し、内部研修で全員が知識を共有していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。